施策マネジメントシート
（令和７年度目標達成度評価）

シート１　施策11：生涯スポーツの推進

施策体系

基本方針	3	教育の健幸	施策名	11	生涯スポーツの推進

施策統括部	教育部	関係課	無し
施策主管課	生涯学習課		

１　施策の評価指標

	成果指標	単位
A	総合型地域スポーツクラブ会員数	人
B	体育施設の延べ利用者数	人
C		
D		

２　指標等の推移

成果指標		R4年度実績値	数値区分	６年度	７年度	８年度	９年度	評価	背景として考えられること
A	人	1,169	目標値	1,250	1,300	1,350	1,400	○	パンフレットやホームページによる周知啓発に加え、様々な内容の体験教室等の実施や教室の増加、内容の充実など、クラブこうし・ヴィーブルFUNクラブで取り組んできた成果ととらえています。
			実績値	1,244	1,397				
B	人	3,465,467	目標値	3,600,000	3,800,000	4,200,000	4,500,000	△	一昨年度からの総合運動公園廃止による体育施設利用の減少はあるものの、令和7年度末のオンライン予約システム導入による利便性の向上や、現在進めている恵楓園グラウンドの整備による多目的利用促進により利用者増加を目指します。
			実績値	3,560,634	3,623,120				
C			目標値						
			実績値						
D			目標値						
			実績値						

※【評価】　○；目標達成　△；目標をほぼ達成（－5%）　×；目標を未達成

事務事業数・コスト				６年度	７年度	８年度	９年度
事務事業数			本数	6	6		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0		
		都道府県支出金	千円	0	0		
		地方債	千円	8,900	102,200		
		繰入金	千円	0	0		
		その他	千円	159,505	37,735		
		一般財源	千円	65,132	75,678		
	事業費計		千円	233,537	215,613		

施策マネジメントシート
（令和７年度目標達成度評価）

シート２　施策11：生涯スポーツの推進

３　施策の現状・住民意見等

①施策の現状（第１期基本計画策定当初）と今後の状況変化

●スポーツをしない理由として「時間がない」などがあげられていますが、健康への関心は高まっています。
●市が主催するスポーツイベントにおける参加者の推移は、増加傾向が見られます。
●スポーツ施設の数や利用時間帯などにより、希望どおりの利用ができない場合もあります。
●中学校部活動の地域展開の検討が求められています。
●総合運動公園の廃止に伴う、スポーツ施設の代替地確保のため、恵楓園グラウンドの整備に向けた暗渠排水設計業務委託を行いました。
●総合運動公園の廃止に伴う、スポーツ施設の夜間利用における代替地確保のため、合志中学校グラウンドナイター照明設備建設工事を行いました。

②この施策に対して住民（対象者、納税者、関係者）、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

（令和７年度（令和6年度振り返り）の施策評価における議会意見）
●年齢に関係なく、身近で楽しめるメニューを用意すること。
●総合運動公園で廃止される施設について、代替施設を確実に整備すること。
●企業に理念を説明しアルビレックス新潟のような、中学校から社会人までの地域スポーツクラブを設立し、市民に運動の機会を提供すること。

（令和７年度（令和6年度振り返り）の施策評価における総合政策審議会意見）
●スポーツを通した交流を行い、スポーツの普及促進を図ること。
●誰もが気軽にスポーツができる環境を整備すること。

４　施策の評価

①施策の振り返り（経営方針の達成度等）

令和７年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。
①【市が主催するスポーツイベントの内容充実を図るとともに、市民に分かりやすい情報発信に努めます。】については、スポーツ推進委員と協働し、4回のスポーツイベントを実施しました。カントリーマラソンではスペシャルゲストを招聘し、春ウォークラリー大会では他課とコラボしたイベントを実施しました。また、市広報誌やホームページでイベントを周知・啓発し、前年度比+118人の参加者を動員しました（令和7年度計1,360人）。

②【スポーツ推進委員や生涯スポーツ団体、地域スポーツクラブとの連携を図りながら生涯スポーツ指導者の確保や育成に努めます。】については、スポーツ推進委員の加入呼びかけを行い、1名の方が新たに加入しました。また総合型地域スポーツクラブ・スポーツ協会各種目団体と連携を図り、研修への参加や情報提供を行いました。

③【生涯スポーツ施設の再編と併せ、オンライン申請の導入など利用しやすい社会教育施設の環境整備に努めます】については、令和8年2月にオンライン予約システムを導入し、予約から使用料の支払いまでオンラインで完結できるようになるなど、利用者の利便性の向上を図りました。また、公共施設等総合管理計画に基づいた修繕・工事を行いました。突発的な修理等についても、できるだけ迅速に対応し市民の利用しやすい環境整備を行いました。

④【中学校部活動の地域スポーツ移行について、引き続き市内各中学校及び関係団体と協議を重ねます。】については、前年度に引き続き検討委員会を4回開催し、持続可能な中学校部活動のあり方や地域社会との役割分担、指導者確保のための必要な事項について関係者等と協議を行いました。また指導者確保のため、中学校部活動地域サポーターバンクを立ち上げ、募集を開始しました。

②施策の課題

●幅広い世代がスポーツを始めるきっかけとなるよう、魅力的なスポーツイベントの開催が必要です。
●市民が安心安全にスポーツに親しむための計画的な施設整備が必要です。
●スポーツ実施率などを数値化するなど見える化し、市民への運動の啓発が必要です。
●地域スポーツの振興を図るため、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ等との連携を強化し、地域指導者等の人材確保・育成が必要です。
●中学校部活動地域展開の令和9年度からの段階的実施に伴い、体制整備の確立、学校等関係団体との更なる協議、地域指導者等の人材確保が必要です。
●令和8年2月に導入したオンライン予約システムの更なる周知と課題点の改善が必要です。
●市内スポーツ施設と周辺の観光・物産資源を連動させたイベントを開催し、市外からのスポーツ参加者を地域消費に繋げるスポーツツーリズムの推進が必要です。

５　施策の令和７年度結果に対する審査結果

①政策推進本部での指摘事項（令和８年7月13日まとめ）

●市主催スポーツイベントの魅力向上と参加層の拡大を図るとともに、デジタル媒体等の効果的な活用により、ターゲットに応じた分かりやすい情報発信を強化すること。
●市内スポーツ施設と周辺の観光・物産資源を連動させたイベントを開催し、市外からのスポーツ参加者を地域消費に繋げる工夫をすること。
●中学校部活動の地域展開について、令和9年度からの段階的実施を見据え、受け皿となる運営体制の整備を推進するとともに、生涯スポーツ指導者の発掘・育成および継続的な人材確保に向けた取り組みを推進し、こどもたちが地域でスポーツを継続できる安定的な環境を構築すること。
●社会体育施設の老朽化に伴うリスクを回避し、安全かつ高品質な利用環境を維持するため、個別施設計画に基づいた計画的な修繕・更新を着実に実施すること。

②総合政策審議会での指摘事項（令和8年8月31日のまとめ）

●学校施設の利用環境を改善するとともに、市民のスポーツへの参画を促進すること。
●持続可能な指導体制の構築に努めること。

③議会の行政評価における指摘事項（令和8年9月1日）

・総合運動公園の廃止により失われる施設について、代替施設を確実に整備すること。
●企業に理念を説明し、アルビレックス新潟のような、中学校から社会人までを対象とした地域スポーツクラブを作り市民に運動の機会を提供すること。
●中学校部活動の地域展開については、学校・競技団体・地域との連携を図りながら、地域指導者の育成・確保、運営体制、活動場所、受益者負担のあり方などについて十分な検討を進めること。
●競技力の向上や競技の継続だけでなく、「スポーツを楽しみたい」市民も参加しやすい環境づくりを重視し、市民がそれぞれの目的に応じて、将来にわたり地域で安心してスポーツに親しむことのできる体制を構築すること。
●ラジオ体操、速歩などの軽運動を生涯スポーツと位置づけ、健康づくり部門と連携すること。

６　次年度に向けた取り組み方針

○政策推進本部　令和９年度合志市経営方針（令和8年10月15日）

①新たに整備する恵楓園運動公園グラウンドの来訪者の域内周遊を促進するため、御代志駅周辺を中心とした市内の商業施設や宿泊施設と連携して、食×物産×スポーツ×宿泊×観光をセットにした「1泊滞在型コンテンツ」の開発および実証に着手し、スポーツツーリズムを推進します。
②生徒が将来にわたり持続的にスポーツ・文化活動に親しめる環境を構築するため、「学校とまちの部活動」の方針に基づいた地域展開を段階的に進めます。地域指導者の確保については、スポーツ協会等と連携して多様な人材確保を目指します。
③公共施設等総合計画を基本とした維持補修・更新及び整備を進め、市民の更なる利便性向上及び生涯スポーツの推進を図ります。また、中九州横断道路建設工事に伴い廃止となった総合運動公園のテニスコート、弓道場については、恵楓園運動公園グラウンド内に整備を進めます。
④より魅力的なスポーツイベントとなるよう、スポーツと健幸を融合したイベントや市内の施設等の資源を活用したイベント等を実施し、市のスポーツの活性化を図ります。併せてホームページやSNSを利用した情報発信を強化し、参加者の拡大を図ります。